1995年センター報告・日誌

「メンガー文庫マイクロフィルム化・目録改定・保存事業」について

マイクロフィルム化

8月に全リール納入完了。

目録改訂

学術情報センターへの書誌情報の入力は，95年度はドイツ語，フランス語文献が中心で，96年3月末には，3,500冊，前年度までの分を含めて，9,500冊になる見込みである。

保存事業

文庫の全冊対象の劣化調査は終了し，昨年に引き続き各冊に対する個別的な手当を継続中である。なお今年度は，撮影作業の終了によってできたスペースに，大型の紙裁断機，中性紙材料を保管するマップケース，その他各種製本用機材，補修・保存用材料・薬品を備え付けて，「保存・修復工房」を設置した。これによって，現在，各種の中性紙容器類の作成，和紙を用いた補修，中性紙ボードによる簡易製本，保革油塗布作業などを，外注だけでなくセンター内で恒常的に行っている。これはおそらく現在の大学図書館では他にない設備である。

第15回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で，10月17日（火）から20日（金）まで4日間開催し，全国の国公私立大学図書館等からの参加者30名が受講した。

古典研究

（総　論）アダム・スミス蔵書目録その後	水　田　　洋	名古屋大学 名誉教授
（各論1）シュルツとマルクス －古典のコンテクスト－	植　村　邦　彦	関西大学教授
（各論2）18世紀フランス地下文学	寺　田　元　一	名古屋市立大学 助教授

書誌学

（1）書物と社会	長谷川　輝　夫	東京経済大学 助教授
（2）ロシアの図書館	中　村　喜　和	共立女子大学教授
（3）図書館員のための書誌学入門	武者小路　信和	大東文化大学 助教授
（4）イタリア啓蒙をめぐる文献学的諸問題	奥　田　　敬	甲南大学助教授

保存・修復

（1）資料保存における製本の歴史的構造について	岡　本　幸　治	製本家
（2）紙の劣化と資料の保存・修復	鈴　木　英　治	有限会社 CAT
（3）資料保存の立案と遂行のために －古典資料センターにおける実践例－	岩　本　吉　弘	社会科学古典資料 センター助手

情報交換・座談会

日誌

1994年

12月15日　Study Series No.32：岩本吉弘　王政復古期フランスにおける産業主義と反産業主義－近代社会主義思想の形成過程に関する一試論－　発行

1995年

3月31日　永井義雄センター教授停年により退職
一橋大学社会科学古典資料センター年報　第15号 発行
Study Series No.33：Tetsushi Harada（原田哲史）Adam Müllers Leben und Lehre sowie Bibliographie　発行

4月1日　渡会勝義教授，センター教授に就任

5月10日　第47回運営委員会
議題：①平成6年度事業報告について　②平成6年度決算報告について
③平成7年度事業計画について　④平成8年度概算要求について　⑤その他

8月18日　メンガー文庫マイクロフィルム全リール納入完了

10月17日～20日　第15回西洋社会科学古典資料講習会開催

利用状況（1995年1月～12月）

開館日数	232日
利用者	319人
（学内	79人）
（学外	240人）
閲覧冊数	1,791冊
複写冊数	49冊